

# VPN 接続の方法と各種データベース

日本文学科学生向け資料

大学図書館の蔵書を OPAC 検索するだけならば、大学図書館 HP から誰でも（学外者でも）検索できるのですが、法政大学が契約しているデータベース（殆どのものが有料）は、学内 LAN を通じて学内者しか検索できないようになっています。しかし、学内者であれば、自宅から大学へ VPN 接続することで、そのデータベースを（学内からアクセスするのと同じように）利用することができまし。そのためには、VPN 接続という特殊な接続方法を利用し、皆さんの統合認証 ID でログインしなければいけません。この資料では、その方法を説明します。これにより、「ジャパンナレッジ」（日本国語大辞典など）や雑誌記事データベースの「magazineplus」、各社新聞記事データベース、そして（数はまだ少ないですが）紀伊國屋や丸善書店が提供している「電子ブック」を閲覧することができます。

- ① 市ヶ谷情報センターのウェブページに行く。 <https://hic.ws.hosei.ac.jp/network/vpn>

The screenshot shows the HIC (Hosei University Ichigaya Computing and Networking Center) website. The header includes the HIC logo and the text '法政大学 市ヶ谷情報センター'. Below the header, there are navigation tabs: '市ヶ谷情報センターについて', 'パソコンの利用', 'オンデマンドプリンターの利用', 'ネットワークの利用', and '教職員の方'. The 'ネットワークの利用' tab is selected. On the left, there is a search bar and a list of links: 'Gmail/G Suite', '無線LAN', and 'VPN'. The 'VPN' link is highlighted. On the right, there is a section titled 'VPN' with a green background. Below this, there is a section titled 'VPNサービスの種類' with a green background. The text in this section describes the VPN services and mentions a link to the '全学ネットワークシステムユーザ支援WEBサイト/VPN サービス' which is highlighted with a red box.

- ② 上記ページの中にある、以下の部分をクリックする。

[全学ネットワークシステムユーザ支援 WEB サイト/VPN サービス](#)

- ③ ログイン画面が出現するので、統合認証 ID でログインする。

The screenshot shows the login page for the '全学ネットワークシステム統合認証' (University-wide Network System Integrated Authentication). The page has a blue header with the '法政大学 HOSEI University' logo. Below the header, there is a section titled 'ログインサービス: ユーザ支援WEB サイト' (Login Service: User Support Web Site). The form includes fields for 'ユーザID (USER\_ID)' and 'パスワード (Password)'. There is a checkbox for 'ユーザIDをマスキングする (masking USER\_ID)'. At the bottom, there is a blue button labeled 'ログイン (Login)'.

- ④ 全学ネットワークサービスの、VPN 接続方法を解説するページが出現するので、「今すぐ、SSL-VPN (AnyConnect) を利用したい方は、こちら」をクリックする。

法政大学 全学ネットワークシステム  
Hosei University ユーザ支援WEBサイト

TOP > マニュアル一覧 > VPN

**利用マニュアル**

- 申請  
各種申請
- メール  
メーリングリスト  
Gmail
- Webサービス  
レンタルサーバ  
G Suite
- グループウェア  
desknet's
- ネットワーク

**VPN**

今すぐ、SSL-VPN (AnyConnect) を利用したい方は、[こちら](#)  
(次の画面で、左側にある「AnyConnect」をクリックし、クライアントソフトをインストールしてください)  
※学外からのみアクセス可能

今すぐ、SSL-VPN (クライアントレス) を利用したい方は、[こちら](#)  
※学外からのみアクセス可能  
※図書館のオンラインデータベースには利用できません。

今すぐ、AnyConnect(モバイル)を利用したい方は、[こちら](#)  
※学外からのみアクセス可能

1. VPNとは？
2. 各種VPNサービスの違い
3. 動作に必要なシステム要件
4. 利用上の注意
5. 利用マニュアルのダウンロード
6. Q&A
7. 本件に関する問い合わせ先 (Contact us)

- ⑤ 再度、ログインの画面が出現するので、統合認証 ID でログインする。

ログイン

ユーザーIDとパスワードを入力してください

ユーザーID:

パスワード:

ログイン

- ⑥ 法政大学 SSL-VPN サービスのページで、左側メニューにある、「AnyConnect」をクリックする。

法政大学 Hosei Univ. SSL VPN Service  
Hosei University

http://参照

Webブックマーク

情報システム  
教員・学生の方はこちらから  
※ポップアップ・ブロックの解除 (vpn.hosei.ac.jp と www.as.hosei.ac.jp の2つ) が必要です。

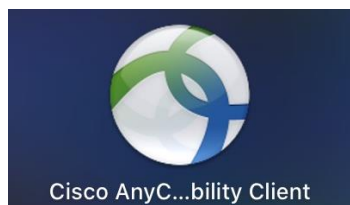
法政大学専用Gmail はこちらから  
※ログイン後、読み込み時に画面右下の簡易HTML形式をクリックしてください。

VPNサービスとは？  
VPNとは、インターネットを経由して、自宅と大学のような拠点を、あたかも専用回線であるかのように利用することができるサービスの

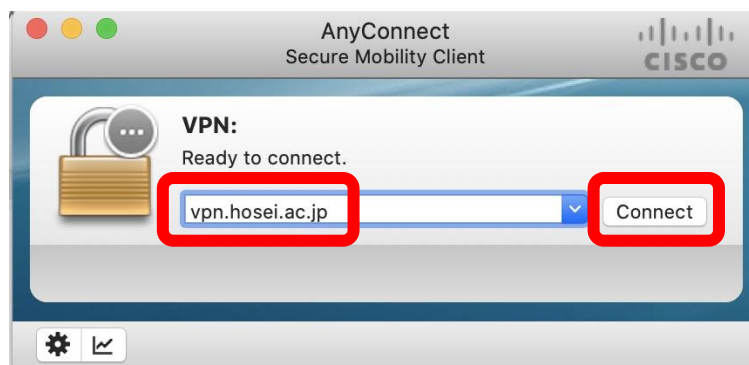
- ⑦ 画面中央に「Start AnyConnect」のリンクが出てくるので、これをクリックすると、AnyConnect アプリのダウンロード画面に移動するので、指示に従ってダウンロード&インストールする。



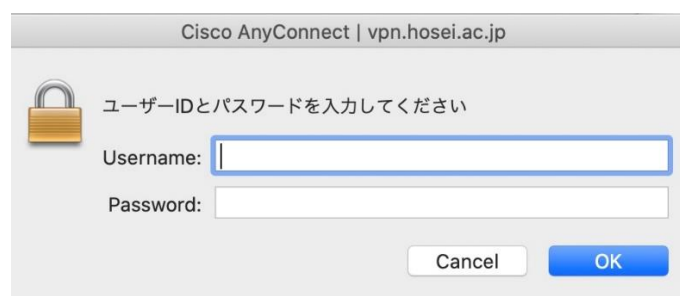
- ⑧ インストールが終了すると、AnnyConnect のアイコンがホーム画面上（パソコンの場合は、自分が指定した場所）に出現しているはずなので、それをクリックする。



- ⑨ AnnyConnect が起動したら、接続先を「**vpn.hosei.ac.jp**」に指定し、Connect ボタンを押す。



- ⑩ 統合認証 ID でログインする画面がでるので、ID とパスワードを入力する。



- ⑪ VPN 接続に成功すると、以下のような画面になり、自動的にウィンドウが最小化される。



- ⑫ VPN 接続が維持された状態で、WEB ブラウザを立ち上げ、大学図書館の HP を表示し、左メニューの「オンラインデータベース」から「ログイン画面」へ進む。



- ⑬ 統合認証 ID でのログインが完了すると、以下のような画面になる。



⑭ 画面上に並ぶメニューから「データベース」をクリックすると、オンラインで利用できるデータベースが分野別に整理されたページが出現する。日文科生が主に利用するのは、右の4つである。

⑮ 「辞書・事典を引く」では、「[ジャパン・ナレッジ](#)」を主に利用することになる。「ジャパンナレッジ」とは、様々な辞書・事典を一度に横断検索できるサービスであり、日本語で唯一の大型国語辞典『[日本国語大辞典](#)』（小学館）をはじめ、『[角川古語大辞典](#)』『[字通](#)』『[イミダス](#)』『[現代用語の基礎知識](#)』『[日本人名大辞典](#)』『[世界文学大事典](#)』『[能・狂言事典](#)』『[新日本古典籍データベース](#)』など、多くの辞書を引くことができる。もちろん、いくつかの辞典は、条件を細かく指定できる「個別検索」にも対応している。

⑯ 「日本の新聞記事を読む」では、朝日新聞（[聞蔵Ⅱ](#)）、読売新聞（[ヨミダス歴史館](#)）、毎日新聞（[毎索](#)）、日経新聞（[日経テレコン](#)）などの記事が検索できるだけでなく、各社が発行している雑誌も同時に検索できる場合がある。

⑰ 「日本の論文・記事を探す」では、「[国文学論文目録データベース](#)」、「[magazineplus](#)」「[CiNii Articles](#)」「[J-Stage](#)」「[ざっさくプラス](#)」「[日本文学 Web 図書館](#)」などが検索できる。CiNii や J-Stage などはオープンアクセス版もあるが、『[週刊東洋経済](#)』などをはじめとする一般雑誌の記事も検索できる magazineplus（マガジンプラス）は、こちらで検索するしか方法はない。

⑱ 「電子ブックを読む」では、法政大学図書館が契約している電子ブックを読むことができる。ほとんどの電子ブックは英語だが、「[KinoDen：キノデン](#)」と「[Maruzen eBook Library](#)」は、それぞれ紀伊國屋、丸善書店が提供する電子ブックであり、日本語の本が多い。ただし、まだまだ紙版の書籍が多いため、電子ブックとして読める書籍はまだまだ少ない。

⑲ 上記で紹介したデータベースのうちいくつかは、「同時最大アクセス数」が「5人」や「1人」といった制限が設けられている。そのため、各データベースの検索が終了したら、必ずそのデータベースの「ログアウト」ボタンを押すこと。そのまま放置して、異なるページを閲覧していると、その間、他の人が利用したくても出来ない可能性が出てくる。



以上